

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | 親子が集う縄文むら公園リニューアル事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 朝日村 (朝日村教育委員会 電話 0263-99-4105 担当:丸山真由美) |
| 事業区分 | (2) 保険・医療・福祉の充実に関する事業 (1) 地域協働の推進に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 783,451円 (うち支援金:558,000円) |

事業内容

1. 縄文むら公園検討委員会を4回開催し、親子連れに親しまれる縄文むら公園のリニューアル案をまとめた。
2. 村内の家具職人団体に公園内の木製テーブル修復を委託し、仕上げのオイル塗装を住民ボランティアとの協働で実施した。
3. 村内企業に委託し、公園樹木の枝打ち等の環境整備を行った。
4. 公園の木を使って親子で楽しめるスラックライン体験会を開催した。



【8/1 オイル塗装作業の様子】

【目標・ねらい】

- ① 住民協働による公園整備 80人
- ② 公園をPRするイベントの実施 50人
- ③ 美術館・資料館来館者 2,500人

事業効果

- ①木製テーブル・ベンチのオイル塗装には16名、環境美化は3回で42人の住民ボランティアが参加してくれ、住民協働による公園整備に取り組めた。
- ②イベントは感染対策のため予定を変更し、スラックライン体験会に約80名の親子が参加し、あわせて公園整備に関するアンケート調査も実施できた。
- ③コロナ対策のため美術館・資料館は入館者数制限や1カ月間臨時休館を行ったが、12月末時点で2,001の入館者があり、公園整備の相乗効果が見られた。

※自己評価【 B 】

【理由】

コロナ感染対策のため計画通りに実施できないイベントもあったが、検討委員会や公園整備作業を実施し、住民協働による活動は達成できたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度、縄文むら検討委員会を通して集約した意見を基に、来年度は業者に設計を依頼し、安全面を考慮しながらリニューアル工事を実施します。公園内の草刈り等は村民ボランティアを募り、住民協働で実施していきます。公園を活用するイベントを開催して広くPRし、親子が訪れるきっかけづくりに取り組みます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある